

1学年通信

～自覚～

Vol.1

R3.4.21発行

文責 木村有里

入学式が行われました

4月9日金曜日に、令和3年度入学式が実施されました。

今年度の入学生は61名、保護者の皆様や教員に見守られながら担任に名前を呼ばれ、緊張した面持ちで返事をしました。代表生徒は、「地域の方と関わる活動をし、大槌高校だけでなく、大槌町を盛り上げていきたい。自分たちの手で、より良い学校を創りあげていきたい」と決意表明をしました。



対面式・部紹介が行われました

4月12日（月）に、対面式が開催されました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大を懸念し中止となりましたが、今年度は生徒同士の距離を十分にとり行いました。

対面式では、代表生徒が先輩に向けて挨拶をしたのち、「部活と勉強を両立させたい」「マイプロジェクトを頑張りたい」などと、一人一人がそれぞれの抱負を語りました。上級生からも「頑張れ！」「応援しているよ！」などと励ましの言葉をもらいながら、立派に発表をしました。

その後、本校の部活の紹介が行われました。1年生はパンフレットを見ながら、先輩方のパフォーマンスや発表を見学し、どの部活に入部しようかと考えているようでした。



新 1学年団紹介

名前 近藤健一（1A担任・学年長）
教科 理科（科学と人間生活 担当）
出身 大船渡市
抱負 皆が大人になっていく過程を支える！

名前 田中貴広（1A副担任）
教科 商業・情報（社会と情報 担当）
出身 宮古市
抱負 本校1年目になります。
よろしくお願いします。

名前 菅沼和子（1学年付）
教科 商業・情報（社会と情報 担当）
出身 秘密
抱負 大きな願い事を必ず叶えること

名前 菊池美久（1学年付）
教科 養護教諭
出身 陸前高田市
抱負 みなさんが健康に安全に学校生活を送れるよう、サポートしていきます。
1年間よろしくお願いします！

名前 木村有里（1B担任）
教科 国語（現代文 担当）
出身 盛岡市
抱負 現代文担当ですが、国語以外の様々なことも一緒に学び、一緒に成長していきたいです。よろしくお願いいたします😊

名前 木村直温（1A副担任）
教科 数学
出身 盛岡市？青森県？千葉県（諸説あり・・・）
抱負 みんなが頑張ることのできる環境づくりに努めます！
1年間よろしくお願いします！

名前 小野寺綾（1学年付）
教科 総合探究担当
出身 奥州市
抱負 1年間、たくさん学ばせてください！
学び続ける姿勢は、誰にも負けなように頑張ります。

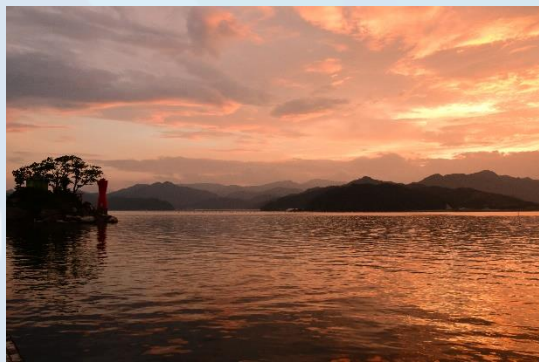
名前 岩間凌太（1学年付）
教科 英語
出身 生まれも育ちも矢巾町（父が大槌出身です）
抱負 色々新しいことを始められるように頑張りたいと思います。
よろしくお願いします！

**今年度は、以上8名で担当いたします。
よろしくお願いいたします！**

今日のおおつち

～生徒の投稿写真～

このコーナーでは、学校向けプラットフォームサービス「classi」を通して生徒から寄せられた写真をご紹介します。今回は、僭越ながら、教員が撮影した写真を載せさせていただきます。



P.N.いかのおすし

昨年、気温も湿度もとても高かった夏のある日、家路に着こうとしたところ、とてもきれいな夕焼けが目に入りました。ちょっと寄り道をしようと蓬萊島（通称ひょうたん島）まで車を走らせ、そこで撮りました。



P.N.いかのおすし

これもまた昨年のある暑い夏の日。生徒に用事があり生徒昇降口にいたところ、別の生徒が「先生、クワガタいます！」と興奮気味に教えてくれました。生徒としばしクワガタの観察会をし、外に返してあげました。大槌高校は自然が豊かなのだな、と改めて大槌の良さを実感しました。



マスクは白…？

2021年4月9日発行の『内外教育』という教育関係者向けの情報紙に掲載されていた、「マスクは白」の指定や指導」という記事を管理職が紹介してくれました。この風潮は、自治体によって異なるものの、ちょうど新型コロナウイルス感染症が広がり始め、マスクをつけなければならなくなり品薄になった昨年の2月ころから各地で起こったようです。記事によると、ある学校がマスクの色を指定するか否かという議論の中で「黒いマスクは「衛生的に見えない」「ヤンキーっぽい」という理由が出され」たという話が出たとのことでした。その記事は最後にこのように締めくくられていました。

「**合目的性**があってはじめて、そのルールは誰もが納得し得る出発点になることを、落ち着いて考えてみようではないか。」

何を目的とするのか、そのルールは納得できるものなのか。

品薄だった時期の「マスクの色は白」の校則は多少極端に見えますが、学校には様々な校則やルールがあり、生徒は其中で過ごしています。本校にも様々なルールがありますが、中には、よく考えてみると現状にはそぐわないルールも存在します。そこで、昨年度より、そのような校則・ルールを改定するため「校則検討委員会」を立ち上げました。生徒たちが教員と話し合い、双方が納得するルールを新たに作り上げていきます。1年生の生徒にも、今後自分たちの手でさらに良い大槌高校を創りあげてほしいです。

編集後記（最近読んだ本の紹介）

「自分にできないことがどんどん見えてくる。それは、何かができるようになったしるしなのかもしれません。」（ヨシタケシンスケ『思わず考えちゃう』より抜粋）

『りんごかもしれない』という絵本の作者で有名なヨシタケさん。彼が、小さなメモ帳に描き貯めたスケッチと、その時の心情を解説したエッセイを本にしたものが、『思わず考えちゃう』です。彼の、日常におけるさりげない「発見」を垣間見ることができます。その中の一文です。

物事において、はじめは、すべてが「わからない」ことだらけで、できるのか、できないのかも判断がつかないような状態です。しかし、やっていくうちに、「これは得意だな」、「これはちょっと難しいなあ」というのが見えてきます。高校生ならば、勉強だけでなく、部活、人間関係の構築などなど。「できない」にどうしても着重点を置きがちですが、相対的にみると、なにかが「できない」ことは、そのみで成り立つのではなく、なにかが「できる」ことがあってこそ「できない」が成り立ちます。

「できない」を克服しながらも、同時に「できる」を見つけ、3年間で、もっとのばせるよう努めてまいります。なにとぞ、よろしくお願いいたします。

